

令和6年度 京都アリーナ(仮称)に関する

# 要 望 書



令和6年7月

京 都 府      向 日 市



## ごあいさつ



平素は向日市政推進につきまして、格別のご高配を賜っておりますことに心から感謝申し上げます。

本市は、京都の中心地や大阪方面へのアクセスに非常に優れているほか、かつて我が国の都が置かれた『史跡長岡宮跡』や、「美しい日本の歩きたくなるみち500選」に選ばれ、多くの観光客が訪れる『竹の径』、「日本百名墳」に選ばれた『物集女車塚古墳』、また、国の文化審議会から史跡指定の答申を受けた『物集女城跡』など、数多くの地域資源を有しており、これらの貴重な資源を活かした魅力あるまちづくりを進めているところであります。

さて、京都府におかれましては、令和5年12月に策定されました「向日町競輪場基本構想」に基づき、京都向日町競輪場における競輪事業の継続に必要な施設の再整備を進められ、本年3月にはその余剰スペースの活用として、大規模な屋内スポーツ施設「京都アリーナ（仮称）」を競輪場敷地内に整備する方針を表明されました。

この「京都アリーナ（仮称）」の整備にあたりましては、向日市に暮らす全ての市民の皆様が利用しやすく、また、利用したくなる、そして市民として誇りの持てる施設であることが求められておりますことから、京都府におかれましても、本市の実情をご賢察いただき、次の要望事項につきまして、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年7月

向日市長

向日市

# 目 次

|   |                         |           |
|---|-------------------------|-----------|
| 1 | 「市民として誇りの持てる」施設について     | ・ ・ ・ ・ 1 |
| 2 | 市民が自由に集い、憩うことのできる施設について | ・ ・ ・ ・ 2 |
| 3 | 府道等の整備について              | ・ ・ ・ ・ 3 |
| 4 | 環境への配慮について              | ・ ・ ・ ・ 4 |
| 5 | 市民の安心安全の確保について          | ・ ・ ・ ・ 5 |
| 6 | 市内の産業振興と地域活性化について       | ・ ・ ・ ・ 6 |

# 1 「市民として誇りの持てる」施設について

## ● 要望事項

### **市民として誇りの持てる施設の整備**

京都向日町競輪場の新しいイメージを創生するために、競輪場の再整備に伴う余剰地の活用としてだけでなく、全国初の自転車競技設備を併設したスポーツ・文化の拠点として、向日市のみならず、京都府全体のランドマークとなる、「市民として誇りの持てる」施設を整備していただきたい。

## ● 向日市の現状及び課題

京都向日町競輪場は、向日市にとって一定の雇用や賑わいを生み出すなどの役割を果たしてきた一方で、金銭の授受が発生する公営競技場であることにより、防犯面での課題などを有していたこともありました。

しかしながら、京都府による「京都アリーナ（仮称）」の整備方針の表明以降、多くの市民や団体が、市内でプロスポーツや国際試合の観戦ができ、大規模なイベントやエンターテインメントを楽しめる、新たなスポーツや文化の交流拠点としての施設を歓迎し、期待しています。

この市民の期待に応えるためにも、「向日町競輪場の再整備」や「競輪場の敷地」という考えにとらわれることなく、新たに、全国初の自転車競技設備を併設したスポーツ・文化の拠点として、いつでも誰もが利用でき、そして、向日市のみならず京都府全体のランドマークとなる、「市民として誇りの持てる」施設を整備していただきたい。

## 2 市民が自由に集い、憩うことのできる施設について

### ● 要望事項

#### **年齢などに関係なく、市民が集い、憩える施設整備**

「京都アリーナ（仮称）」の整備にあたっては、競技やイベントの開催が無い時でも、ノーマライゼーションの理念のもと、「全ての向日市民が利用したくなる」「何度でも足を運びたくなる」よう、緑化エリアや広場、遊歩道など、メインとなる競技施設以外にも、人々が自由に集い、憩うことのできる施設を整備していただきたい。

また、天候を心配することなく、子ども達が五感を通じて思いきり遊べる施設やボール遊びができるスペースの整備を行っていただきたい。

加えて、スポーツの拠点として、多くの人が様々なスポーツに触れることができるよう、都市型のスポーツ、いわゆる「アーバンスポーツ」の施設を整備していただきたい。

### ● 向日市の現状及び課題

現在の京都向日町競輪場は、トタン堀に囲まれており、閉鎖的な状況です。市民に親しまれ、多くの人が集い、ノーマライゼーションの理念のもと、「全ての向日市民が利用したくなる」「何度でも足を運びたくなる」施設となるためにも、メインとなる競技施設以外に、緑化エリアや広場、遊歩道など、自由に市民が集い、憩える施設の整備が期待されています。

また、計画地は本市の中心部に位置するとともに、市内で最も大きな施設であるため、天候を心配することなく、子ども達が思いきり遊べる施設やボール遊びができるスペース、そして、多くの人々が様々なスポーツを経験することができるよう、東京オリンピックの新競技にも採用された都市型のスポーツ、いわゆる「アーバンスポーツ」の施設などの整備を求める声が寄せられています。

### 3 府道等の整備について

#### ● 要望事項

##### 府道等の整備及び交通分散による渋滞解消

計画地に接する府道西京高槻線や府道柚原向日線の拡幅整備はもちろんのこと、外周道路やアクセス道路についても、交差点の形態や幅員の現状を把握した上で来場者の流れを予測し、安全な歩行空間を確保するため、歩行者と車両の分離について十分な対策を講じるとともに、必要な駐車場についても確保していただきたい。

さらに、自家用車などによるアクセスルートや、バス及び電車などの公共交通によるアクセス手段を検討し、市内における交通渋滞の発生を抑制するため、交通分散を図る対策を講じていただきたい。

#### ● 向日市の現状及び課題

本市では、高度経済成長の過程で都市計画が定まる前に競輪場が建設され、また、民間の開発行為が進められたため、道路や公園など公共施設が不十分なまま市街地が形成され、都市基盤整備の充実が必要な状況であり、市道整備のみならず府道整備が必要不可欠であります。

「京都アリーナ（仮称）」計画地に隣接する福祉会館前交差点では、朝夕の通勤や通学時間帯に、多くの歩行者と通過車両による渋滞が生じているなど、市内各地域に様々な交通の実情があるため、市の最重要施策の一つとして都市計画道路をはじめ幹線市道や通学路等の整備を進めているところであります。

特に、「京都アリーナ（仮称）」を競輪場敷地内に整備する方針を表明されて以降、多くの市民の方々から道路整備や交通渋滞等に対する懸念の声が強く寄せられております。

## 4 環境への配慮について

### ● 要望事項

#### **自然環境や生活環境への配慮**

2050 年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を行っている本市にふさわしい、高い環境性能を有した、本市のゼロカーボンのシンボルとなるような施設整備を行っていただきたい。

また、施設運営にあたっては、イベント開催時の騒音や振動、来場者が排出するゴミ等の環境への負荷について、周辺住民の生活に十分に配慮した運営や対応を行っていただきたい。

### ● 向日市の現状及び課題

本市におきましては、2022 年 10 月 1 日に、2050 年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を行っておりますが、市域が西日本で一番小さく、また昭和 30 年代後半から 40 年代にかけて急激な人口増加とともに都市化が進み、府内において最も人口密度が高いことに加え、二酸化炭素を吸収する広大な森林也没有。実際に、ZET-valley 構想の一環である研究会で発表された「衛星画像を用いた森林 CO2 吸収量推定研究報告」によりますと、森林 CO2 吸収量の推定は府内最下位の 29 トンでありました。

しかしながら、ゼロカーボンの実現が非常に厳しい環境にある本市こそ、次世代により良い地球環境を残すため、脱炭素に向けた先進的で高度なテクノロジーを活用し、大きく困難な目標に向かって挑戦することが重要であると考えております。そのため、本市のゼロカーボン施策にふさわしい、高い環境性能を有した施設が求められています。

また、計画地周辺には、市を代表する歴史的建築物の向日神社が立地しているほか、市域全体には、かつて我が国の都が置かれた『史跡長岡宮跡』や、「美しい日本の歩きたくなるみち 500 選」に選ばれ多くの観光客が訪れる『竹の径』、「日本百名墳」に選ばれた『物集女車塚古墳』、また、国の文化審議会から史跡指定の答申を受けた『物集女城跡』など、数多くの歴史文化資源があり、市民の誇りとなっています。

このことから、施設の運営に対し、イベント開催時の騒音や振動、来場者が排出するゴミ等の環境への負荷について、懸念の声が寄せられていますので、施設の整備や運営にあたっては、施設周辺住民の生活環境について、十分な配慮が必要です。

## 5 市民の安心安全の確保について

### ● 要望事項

#### **災害時に大規模避難所として機能する施設としての整備**

本市の中心部に計画されている「京都アリーナ（仮称）」については、全ての向日市民の安心安全の確保のため、災害時に大規模避難所として機能することができる施設となるよう、整備を行っていただきたい。

また、整備期間における工事車両やイベント開催時の来場車両等の通行については、地域住民の安全に十分配慮していただくとともに、公営競技の運営にあたっては、子ども達の教育環境についても、十分配慮していただきたい。

### ● 向日市の現状及び課題

本年1月の能登半島地震においては、発災直後の1月2日に1次避難所の避難者数が最大の40,688人に達したとされております。仮に本市で同様の地震が発生した場合においても、多くの避難者が見込まれることから、避難施設を確保する必要があります。

現在、向日町競輪場は、本市における最大収容予定人数の避難所として指定しており、また、京都府向日町倉庫として防災備蓄物資の保管がされています。

今後におきましては、向日市民のさらなる安心安全の確保のため、これらの機能のより一層の充実と、災害時に大規模避難所としての使用を想定した設備や、大規模災害時にライフラインが確保できる非常用電源等の設備の設置を求める声が寄せられています。

また、整備期間における工事車両やイベント開催時の来場車両等の通行については、通学路や地域住民の生活道路になっている箇所もあり、近隣に保育所や小学校、消防署も立地していることから、安全確保に十分な配慮が求められています。

加えて、施設の運営開始後は、近隣の子ども達が日常的に施設に立ち入ることも考えられることから、公営競技の運営にあたっては、子ども達の教育環境についても十分な配慮が必要です。

## 6 市内の産業振興と地域活性化について

### ● 要望事項

#### **地域活性化につながる運営**

「京都アリーナ（仮称）」の整備によって、雇用が創出され、市全体に経済効果が波及し、市内農商工業の振興や地域の活性化、観光振興に繋がるよう、積極的な地産地消の推進など、地元事業者と施設運営事業者との緊密な連携が図られる施設運営をお願いしたい。

また、施設の運営には不可欠と思われる、飲食物や物販等のサービスの提供にあたっては、近隣の地元事業者の経営を圧迫しないよう、十分に配慮していただくとともに、施設運営業者は、地域の活性化について、市内事業者と連携のもと積極的に取り組んでいただきたい。

### ● 向日市の現状及び課題

「京都アリーナ（仮称）」の整備方針表明以降、多くの市民や団体が、新たなスポーツ・文化の交流拠点としての施設を歓迎するとともに、地域活性化や観光振興の拠点となることに期待しています。その期待に応えるためにも、「京都アリーナ（仮称）」の整備によって、市内全域に経済効果が波及し、市内の農商工業の振興に繋がる運営が必要です。

また、経済効果の波及には、来場された方々に市内を周遊していただくことが効果的であると考えますことから、来場者に対する観光の拠点としての機能を併せ持つ施設に整備していただきたい。

加えて、計画地周辺においては、多くの事業者が飲食や物販などに携わっておられることから、飲食物や物販等のサービスの提供にあたっては、市内事業者からの意見や要請を十分考慮するとともに、施設運営業者は市内事業者と連携し、地域の活性化に積極的に取り組むことが求められています。